

# 愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり事業について

## 目的

・平成30年4月から国保財政運営主体の都道府県化により利用が可能となった国保データと、平成27年度に包括連携協定を締結した協会けんぽのデータを合わせ、県人口の8割に当たる約110万人分の健診・医療・介護のビッグデータを一元的に活用し、県内20市町その他、保険者等関係機関と連携し、地域の特性に応じた効果的な疾病予防・健康づくり施策等を全県で展開する。

・県民の健康に対する関心を高め、健診受診など行動の変化を促し、健康寿命の延伸、医療費・介護費の抑制を目指す。

実施期間:H30年度～R5年度(予定)

## 事業内容

- 1 ビッグデータ活用県民健康づくり協議会の開催  
構成員 12名(学識経験者、医療関係団体、健診団体など)
- 2 代表者会議の開催  
構成:保健所健康づくり実践ワーキングチーム、分析ワーキンググループ 20名程度  
内容:事業の取り組みやビッグデータの活用について協議を行う。
- 3 分析ワーキンググループ会議の開催  
構成:5名(統計・公衆衛生の専門家)  
内容:データ分析の内容や方向性を検討する。
- 4 ビッグデータ研修会の開催  
対象者:市町、保健所、保険者等の担当者
- 5 ビッグデータ分析委託  
健診・医療・介護等のビッグデータを分析し、健康面での課題等を見える化する。  
委託先:愛媛大学
- 6 ビッグデータ活用地域健康づくり事業の実施(保健所事業)  
各保健所に保健所健康づくり実践ワーキングチーム等を置き、保健所が市町とともに、ビッグデータ分析結果等を活用し、地域課題の抽出・対策等の検討の技術的助言や人材育成及び関係機関との連携強化を進め、地域の健康課題に応じた効果的な保健事業を展開する。

# 事業体系図

## ビッグデータ活用県民健康づくり協議会

(年1回)

報告  助言等 

### 保健所実践ワーキングチーム代表者会議

(年1回程度)

### ビッグデータ分析 ワーキンググループ

助言・支援等

情報共有  
・連携

松山市  
保健所

情報共有  
・連携

四国中央保健所  
実践ワーキング  
チーム

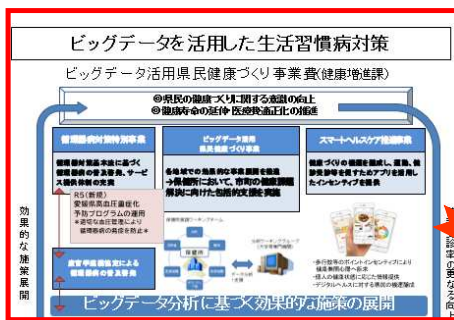
西条保健所  
実践ワーキング  
チーム

今治保健所  
実践ワーキング  
チーム

中予保健所  
実践ワーキング  
チーム

八幡浜保健所  
実践ワーキング  
チーム

宇和島保健所  
実践ワーキング  
チーム



## ビッグデータを活用した生活習慣病対策

### ビッグデータ活用県民健康づくり事業費(健康増進課)

◎県民の健康づくりに関する意識の向上  
◎健康寿命の延伸・医療費適正化の推進

#### 循環器病対策特別事業

循環器対策基本法に基づく  
循環器病の普及啓発、サービ  
ス提供体制の充実

R5(新規)  
愛媛県高血圧重症化  
予防プログラムの運用  
\*適切な血圧管理により  
循環器病の発症を防止\*

産官学連携協定による  
循環器病の普及啓発

#### ビッグデータ活用 県民健康づくり事業

各地域での効果的な事業展開を推進  
→保健所において、市町の健康課題  
解決に向けた包括的支援を実施

保健所実践ワーキングチーム



データ分析  
・支援

#### スマートヘルスケア推進事業

健康づくりの機運を醸成し、運動、  
健診受診等を促すためアプリを活用  
したインセンティブを提供



- ・歩行数等のポイントインセンティブにより健康無関心層へ訴求
- ・個人の健康状態に応じた情報提供
- ・デジタルヘルスに対する県民の機運醸成

効果的な施策展開

健診受診率の更なる向上

### ビッグデータ分析に基づく効果的な施策の展開

## 事業開始から前半3年間（H30年度～R2年度）のトピックス

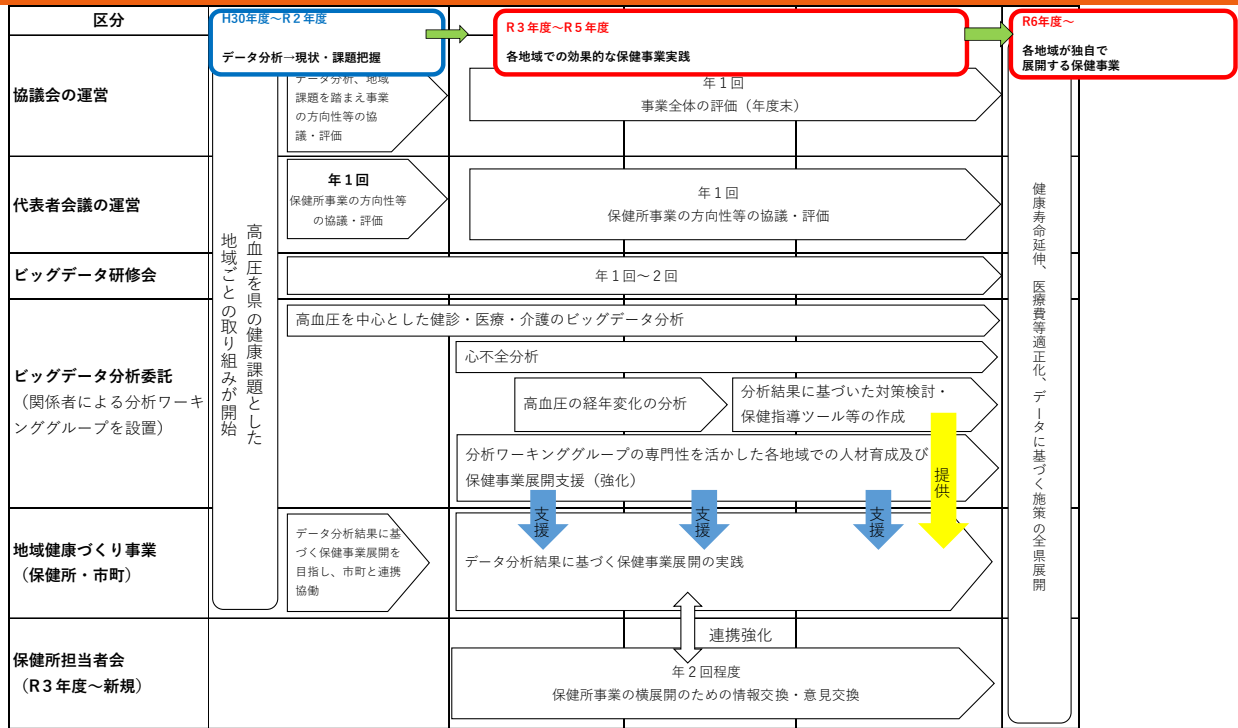
- 当初の3年間は、データ分析を中心に、現状・課題把握  
⇒県の健康課題は高血圧！（特に男性は全国第8位）  
高血圧には地域偏在がある（宇摩・宇和島圏域では多く、松山圏域で少ない）  
高血圧（収縮期血圧の上昇）に影響を与える生活習慣は、肥満・毎日飲酒・朝食欠食！
- 課題を見える化し、県民への情報発信
- スマートヘルスケア推進事業を開始（R2年～R5年予定）  
⇒スマートフォンアプリを利用した効果的な疾病予防の取り組みを推進するため、国保被保険者を対象に全市町で実施
- 心不全対策として産官学連携プロジェクトを開始（R2年～R5年予定）  
⇒愛媛県と愛媛大学とノバルティスファーマ（株）による産官学連携協定を締結し、県民に向けた循環器病疾患の啓発を実施



## 後半3年間（R3年度～R5年度）の事業方針

- 事業開始から行ってきたデータ分析（現状・課題把握）中心の取組から、後半の3年間で、各地域での効果的な保健事業が実践できることを目指し、その体制づくりや人材育成に取り組んでいきます。
  - ・分析ワーキンググループ委員の先生方の専門性を活かした各地域での人材育成や保健事業展開支援を強化
  - ・各地域の健康づくり事業を積極的に推進するため、保健所事業の横展開のための情報交換・意見交換の場として、担当者会を開催
- 愛媛県循環器病対策推進計画が策定され、同計画に基づいた対策や取組と連動して事業を進めます。

# ビッグデータ活用県民健康づくり事業 ロードマップ



県内全20市町において保健所と協働しながら、ビッグデータ分析を活用した保健事業・健康づくり事業が展開できることを目指します。

## 令和4年度の取組み

- ビッグデータ活用県民健康づくり協議会(R5.2.16)
  - ビッグデータ活用県民健康づくり代表者会議(R4.11.17)
  - 分析ワーキンググループ会議の開催(7回+R5.2.28予定)
    - ・データ分析方針、データの見方や解釈の検討等を実施
    - ・研修会の企画・支援・助言
    - ・データの見える化、情報発信について
  - ビッグデータ研修会の開催⇒別添 1
    - 第1回 R4.7.19WEB開催 「愛媛県循環器病対策推進計画」「循環器疾患の発症・重症化予防」
    - 第2回 R5.1.27WEB開催 「各地域での取組み報告」「グループワーク」
  - ビッグデータ分析 ⇒報告1「ビッグデータ分析について」
  - ビッグデータ活用地域健康づくり事業の実施(保健所事業)⇒別添 2
  - ビッグデータ保健所担当者会の開催(R4.6.6開催)
- スマートヘルスケア推進事業 ⇒別添 3  
 ○愛媛県循環器病対策推進計画に基づく取組み ⇒報告2「愛媛県高血圧重症化予防プログラム」